

Vivliostyleの 利用事例と普及戦略

小形克宏(一般社団法人ビブリオスタイル理事)
2021年6月15日 JEPAセミナー

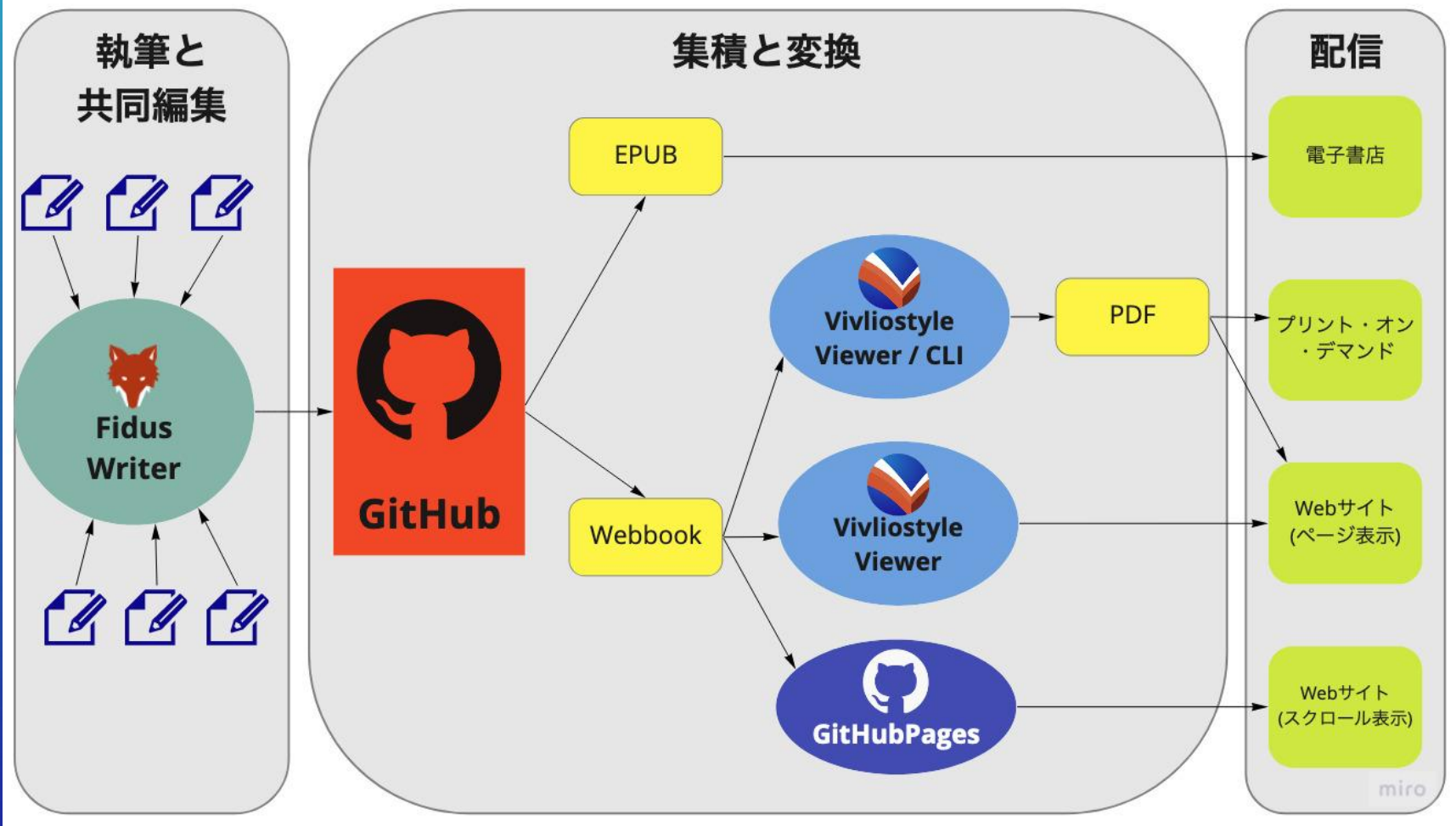
自己紹介

- 1988年:ドラゴンクエスト公式ガイドブック1~3(エニックス/編集長)
- 1990~1991年:別冊ASCII(アスキー出版局/編集)
- 2000年~2008年:文字の海、ビットの舟(INTERNET Watch/執筆)
- 2012年~2015年:DTP&印刷スーパーしくみ事典(ワークスコーポレーション/文字とフォント共同執筆)
- 2015~2018年:電脳マヴォ合同会社(業務執行社員)
- 2019年~現職
-
- コードは書けません、プログラム以外の全部を村上と共同しながら担当

①図版入りWeb記事を、紙の雑誌のように組版したい

②1つの素材から複数の形式で出版・配信したい

- COVID-19に対する公衆衛生教科書の迅速な出版
 - Simon Worthingtonさん(ドイツ国立科学図書館)
 - 2020年10月、Vivliostyle ユーザーと開発者の集い 2020秋で講演
 - 動画→Rapid publishing for public health books against COVID-19(村上真雄による背景説明+字幕翻訳付)
 - ドイツ科学図書館オープン・サイエンス・ラボ/デュッセルドルフ公衆衛生アカデミー他の援助により、COVID-19対策の出版システムを構築
 - Semantic Publishing: The Future Open Textbook – a Contribution to NFDI4Culture
 - 先進的なマルチフォーマットパブリッシングの試み
 - その実体は？



③商業出版の紙書籍でマンガ表現を実現

- 『そろそろ常識？マンガでわかる「正規表現」』(森巧尚／大原ロン、シーアンドアール研究所、2020年)
- 2020年10月、Vivliostyle ユーザーと開発者の集い 2020秋で講演
 - 商業出版『そろそろ常識？マンガでわかる「正規表現」』の制作(大津雄一郎)
- 制作した素材を、オープンソースとして公開
→[lw_manga_css](#)



正規表現ってなに？

1

1 正規表現ってなに？



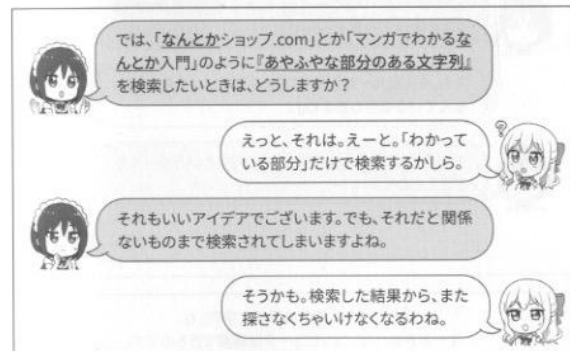
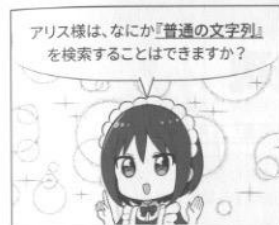
「非正規表現」はございません

正規表現（せいきひょうげん）の「正規」は、「会社と定年までの雇用契約を結ぶ」といった意味ではありません。「正規表現」は、英語でいうと「Regular（規則的な）expression（表現）」。

つまり「**規則性（ルール）に基づく表現**」という意味なのです。

1

1 正規表現ってなに？



④VScode上のテキストファイルから縦組PDFを出力

- novel-writer (VScode機能拡張)
- 小説家・藤井大洋さんが、なるべく少ない手間で自身が執筆しやすい環境を構築しようとしたプラグイン
- 「執筆しやすい環境」というところがミソで「読むための環境」ではない
- 先行する機能拡張「縦書きプレビュー」を参考に開発スタート
 - 「縦書きプレビュー」になくて novel-writer もある機能
 - マス目表示
 - ルビ
 - 文字数の表示
 - 版面の指定 (文字サイズ、行長、行数)
 - そしてPDF出力 → Vivliostyle CLI

⑤そして、Vivliostyle Pub

- まず現在のアルファ版をデモ
- 詳しい紹介の前に、まずVivliostyleの既存プロダクトをざっと振り返る
 - themes
 - CSS(スタイル情報)をパッケージ化したもの →指定するだけで目的のスタイルに
 - theme-bunko (縦書き小説)、theme-techbook (横書きの技術書)など
 - Vivliostyle Flavored Markdown (VFM)
 - 書籍に最適化したMarkdown形式
 - 最も普及しているGFMにルビ、画像サイズ、キャプション、脚注、メタデータ等を追加
 - Vivliostyle CLI
 - MarkdownやHTMLを読み込み、スタイル情報に従ってCSS組版し、画面・PDFに出力するコンバータ
 - コマンドライン・インターフェイス →他のツールと組み合わせて使うことが可能
 - 3月のバージョンアップで、プレビュー部分を Vivliostyle Vewerと統合

あらためて、Vivliostyle Pubとは？

- themes、VFM、CLiiにテキストエディタを加えれば本が作れる！
- これらをクラウドにおいたWebアプリ→Vivliostyle Pub
- ユーザのコンテンツはGitHub(=クラウド)におく
- メリットは？
 - Webアプリなのでインストール不要
 - インターネットにつながったブラウザさえあれば利用可能
 - Markdownで原稿を書けば、組版結果をすぐに確認できる
 - 組版結果をPDFに出力、それを印刷することもできる

開発スケジュールとビジネスモデル

- 今年9月ベータ版公開
- 今年12月末ローンチ(主にエンジニア向け)
- 以降、提携先や資金を集めつつアップデート(スマホ、WYSIWYGモード)
- ビジネスモデル①
 - 利用料は無料
 - 印刷会社と連携、ボタンを押すだけで印刷会社の入稿ページに遷移
 - 成約すれば顧客が支払う印刷代からペイバックしてもらう
 - すでに1社と提携合意

ビジネスモデル② BtoBモデル

- 社内文書の作成／配布システムとして利用してもらう
- 当法人は保守管理で売上を得る
- 現在進行中の事案→

